



生産性 & 効率アップ必勝マニュアル



付録

生産性向上を図るための 事業計画を作成しよう

step

1

取組むべき経営課題を設定する

step

2

経営課題の取組方法を検討する

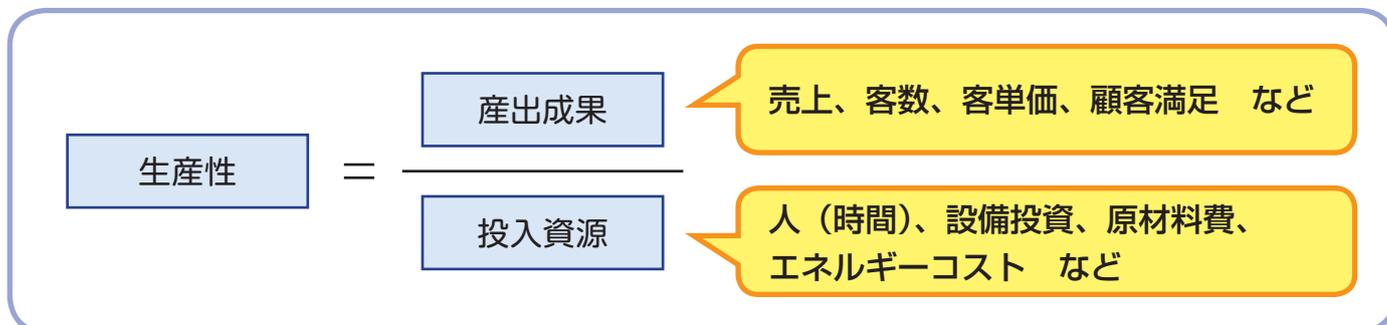
step

3

事業計画を策定し、取組む

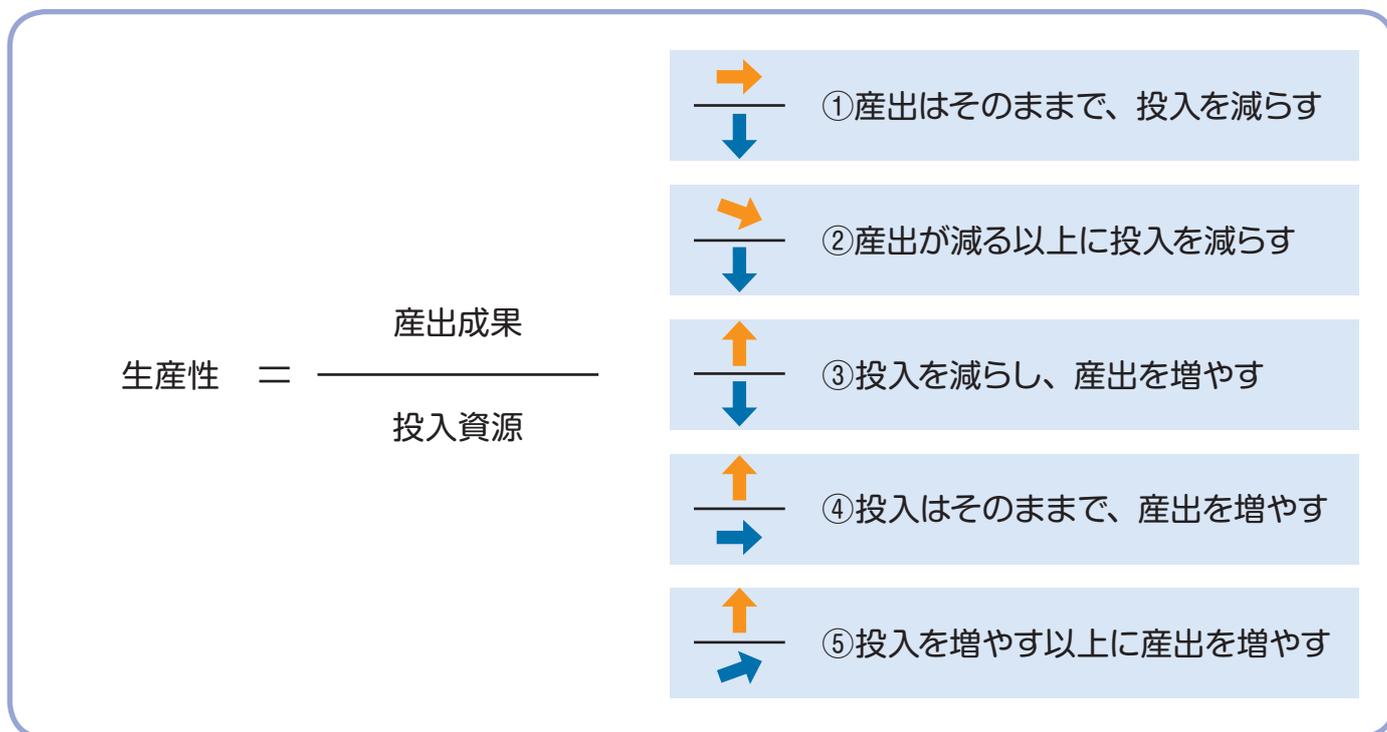
生活衛生関係業者のみなさん

■生産性とは、投入資源に対する産出成果で表されます



つまり、生産性向上とは、
「産出」につながらない「投入」を減らしたり（＝効率化への取り組み）、
産出を増やすことのできる（できそうな）活動に取り組む（＝付加価値向上への取り組み）
ことを意味します。

■生産性向上の方向性としては、以下の①～⑤が考えられます



①の投入量を削減することは必要ですが、限界があります。

②は縮小路線です。

③は理想的ですが、一般的には難しいといえます。

④は目指したい方向性です。

⑤も投資余力があれば目指したい方向性です。

実際には、②→⑤で③を目指すというのが現実的だと考えます。

②の絞り込むところで出た余剰分を⑤で投入し、結果として③を目指すという方向性です。

生産性向上に取り組みましょう

取組手順

step

1

取り組むべき経営課題を設定する

生活衛生関係事業者が生産性向上に取り組むためのガイドラインを活用し、自店・自社の問題を見える化し、生産性向上のために取り組むべき課題を把握する



step

2

経営課題の取組方法を検討する

生活衛生関係事業者が生産性向上に取り組むためのマニュアル（基礎編や業種別編）を活用して、経営課題の解決方法を検討する



step

3

事業計画を策定し、取組む

生産性向上を図るための事業計画を策定し、生産性向上に取り組む



取組むべき経営課題を設定する

ガイドラインを活用して、課題を見える化しましょう。



ガイドライン

- ・ガイドラインは、生活衛生関係業者自身が悩みや問題を整理するためのツール。
- ・ガイドラインを活用することで、自店・自社の課題を見える化でき、生産性向上のために取組むべき課題が分かる。



■ 3つのステップで課題を見える化

50項目に
回答

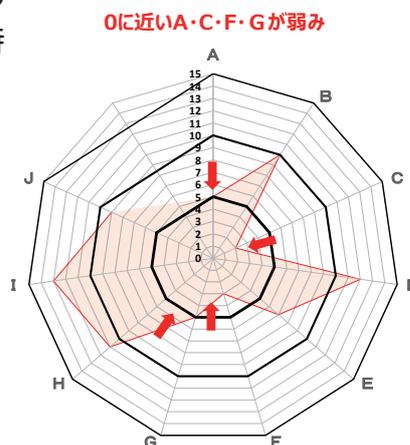
A～Jの50項目の
チェックに要する時
間は10分程度

何が課題か
確認

A～Jの点数を
レーダーチャート
に書き込む

取組課題を
選定

課題の中から何に
取組むべきか優先
順位をつける



他にもっと取組むべき課題があると思ったら？



各都道府県生活衛生営業指導センターに相談してみましよう。
営業活動を行う中での悩みなど、経営全般に関する相談が
できます。

各都道府県生活衛生営業指導センター
http://www.seiei.or.jp/db_meibo/3.html



経営課題の取組方法を検討する

2つのマニュアルを活用し、課題の取組を検討しましょう。



マニュアル（基礎編）

- ・どの業種にも共通した課題に対し、その取組方法を、イラストなどでわかりやすく解説。
- ・ガイドラインで把握した課題の解決方法が分かる。



3領域 10テーマ

収益向上	A. 特長ある店舗・施設づくりで業績を改善しよう
	B. 費用を削減して収益性を高めよう
	C. ICT を活用して集客力を高めよう
顧客満足向上	D. お客様の満足度を高めよう
	E. 優良顧客を増やそう
	F. インバウンドのお客様を増やそう
	G. 従業員のスキルとやる気を高めよう
労働環境改善	H. 作業しやすいお店・職場にしよう
	I. 効率的に作業しよう
	J. 人的ミス（ヒューマンエラー）をなくそう

マニュアル（業種別編）

- ・生産性向上に取組むための業種別ヒント集。
- ・業界動向や消費者動向、業界向け経営改善のヒントや取組事例等をイラストなどでわかりやすく解説。



目次（16業種共通）

業界動向	業界の状況がわかる
消費者動向	業界の消費者ニーズがわかる
経営改善のヒント	あなたのお店の経営改善のヒントがわかる
取組事例	実際に取組んだ事例がわかる
お役立ち情報	取組みに悩んだら・・・

step 3

事業計画を策定し、取組む

目標を決め、目標とする数値を具体的にイメージして書き込みましょう。

取組は、成功の道筋を考え、計画書を作成し、着実に実行すると、成果が出やすくなります。



活用ツール



課題を把握



取組内容を検討

step 1

事業計画書 フォーマットイメージ

経営課題 (A～J)	特長ある店舗づくり (3年後の目標値：お客様 20% 増)			
取組計画				
取組内容	1 年目	3 カ年		
①現状の中心客層と商圏の変化を見る	・現状の中心客層と現状の商圏を把握する	・3カ年の商圏の変化を予測する		
②今後、増えそうな人を中心に重点対象とする客層を決める	・現状の中心客層を中心に増えそうな顧客を重点とする	・今後、増えそうな顧客を重点とする		
③重点客層の期待を整理して、自社が応える期待を決める	・重点客層に対する自社の特長を決める	・今後、増えそうな顧客に対する自社の特長を決める		
④期待に応える特長をつくる	・商品・サービス、価格、提供方法の特長をつくる ・情報発信方法を決める	・商品・サービス、価格、提供方法の特長をつくる ・情報発信方法を決める		
現状値：お客様 ○人/日	目標値：お客様 5% 増	目標値：お客様 20% 増		
損益計画				
科目	2018年度 (現状)	2019年度 (目標)	2020年度 (目標)	2021年度 (目標)
売上高				
売上原価				
売上総利益				
販管費・一般管理費				
営業利益				

step 3

生産性向上はすぐには成果が現れません。中期的な視点で取組みを考えましょう。

なお、成果がイメージしやすいよう、売上高、売上原価、販管費・一般管理費等の目標額を書いておきましょう。



取組に必要な資金を検討する

生産性向上に取組む際、資金が必要となる場合があります。自己資金がない場合には、融資が必要となることも……。そのためにも、事業計画を実行するための予算をきちんと立てておきましょう。



■ 予算書 フォーマットイメージ

費目	内容	発注先 (予定)	税込金額 (見積※)	備考 (時期等)
外注費				
物品費				
通信運搬費				
広告宣伝費				
印刷費				
臨時雇用費				
⋮				
⋮				
計				

※まとまった金額を発注する場合には、見積合わせをして、比較検討を行った上で発注先を決めるよう心がける

資金に困ったら？



組合や各都道府県生活衛生営業指導センター、日本政策金融公庫に相談しましょう。

株式会社日本政策金融公庫

生活衛生関係事業者向けの融資制度（生活衛生貸付）の相談ができる

【事業資金相談ダイヤル】

TEL: 0120-154-505 (平日 9:00 ~ 17:00)

<https://www.jfc.go.jp/>



■生産性向上を図るための事業計画書

経営課題 (A～J)	(3年後の目標値：)			
取組計画				
取組内容	1年目	3力年		
現状値：	目標値：	目標値：		
損益計画				
科目	2018年度 (現状)	2019年度 (目標)	2020年度 (目標)	2021年度 (目標)
売上高				
売上原価				
売上総利益				
販管費・一般管理費				
営業利益				

各都道府県の生活衛生営業指導センター 連絡先一覧

エリア	名称	電話番号	エリア	名称	電話番号
北海道	北海道	011-615-2112	近畿	滋賀県	077-524-2311
東北	青森県	017-722-7002		京都府	075-722-2051
	岩手県	019-624-6642		大阪府	06-6943-5603
	宮城県	022-343-8763		兵庫県	078-361-8097
	秋田県	018-874-9099		奈良県	0742-33-3140
	山形県	023-623-4323		和歌山県	073-431-0657
	福島県	024-525-4085	中国	鳥取県	0857-29-8590
関東	茨城県	029-225-6603		島根県	0852-26-0651
	栃木県	028-625-2660		岡山県	086-222-3598
	群馬県	027-224-1809		広島県	082-532-1200
	埼玉県	048-863-1873	山口県	083-928-7512	
	千葉県	043-307-8272	四国	徳島県	088-623-7400
	東京都	03-3445-8751		香川県	087-862-3334
	神奈川県	045-212-1102		愛媛県	089-924-3305
	新潟県	025-378-2540		高知県	088-855-5100
甲信越	山梨県	055-232-1071	九州	福岡県	092-651-5115
	長野県	026-235-3612		佐賀県	0952-25-1432
北陸	富山県	076-442-0285		長崎県	095-824-6329
	石川県	076-259-6510		熊本県	096-362-3061
	福井県	0776-25-2064		大分県	097-537-4858
東海	岐阜県	058-216-3670		宮崎県	0985-25-1466
	静岡県	054-272-7396	鹿児島県	099-222-8332	
	愛知県	052-953-7443	沖縄	沖縄県	098-891-8960
	三重県	059-225-4181	全国生活衛生指導センター	03-5777-0341	

生活衛生関係営業の生産性向上を図るためのガイドライン・マニュアル作成事業
「生活衛生関係営業の生産性向上を図るためのマニュアル（基礎編）」

マニュアルの使い方

ガイドラインで課題が見える化し、2つのマニュアルを活用して、生産性の向上に取り組みましょう！

マニュアル（基礎編）



生活衛生関係営業者を支援する指導センターや生産性向上に取り組みたい組合・営業者が活用する生産性向上ツールです。
どの業種にも共通した課題とその取組方法を、イラスト等でわかりやすく解説しています。

3領域 10テーマ

収益向上	A. 特長ある店舗・施設づくりで業績を改善しよう
	B. 費用を削減して収益性を高めよう
	C. ICTを活用して集客力を高めよう
顧客満足向上	D. お客様の満足度を高めよう
	E. 優良顧客を増やそう
	F. インバウンドのお客様を増やそう
労働環境改善	G. 従業員のスキルとやる気を高めよう
	H. 作業しやすいお店・職場にしよう
	I. 効率的に作業しよう
	J. 人的ミス（ヒューマンエラー）をなくそう

+

付録 生産性向上を図るための事業計画を作成しよう

ガイドライン



生活衛生関係営業者自身が悩みや問題を整理するためのツール。
ガイドラインを活用することで、自店・自社の課題が見える化でき、生産性向上のために取り組むべき課題がわかります。

マニュアル（業種別編）



生活衛生関係営業者が、生産性向上に取り組むためのヒント集。
業界動向や消費者動向、業界向けに経営改善のヒントや取組事例を、イラスト等でわかりやすく解説しています。

理容業、美容業、クリーニング店、興行場営業、公衆浴場業、旅館・ホテル業、食肉販売業、食鳥肉、冰雪販売業、すし業、そば・うどん店、中華料理店、飲食業、日本料理店、喫茶店営業、社交業